

令和 6 年度 上 半 期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	黒野児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市古市場20番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	17,306,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:1,284.56㎡ ◇延床面積:599.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、勉強室、体育室、事務室 ※岐阜市立黒野保育所との合築		

●利用状況

		R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	7,790	6,588	7,060	6,897	5,562
	移動児童館利用者数	46	164	118	235	84
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※3(3)	※4(3)	※4(3)	※11(11)	※5(5)
	開館日数(単位:日)	154	151	155	151	155

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画通り実施しました。 開館時間を17:30までとし、17:30以降15分間を館内清掃時間としました。 また、13:00から館内清掃、消毒を実施し感染症防止に努めました。 ②常勤職員4名、うち保育士1名、児童厚生員1名を配置しました。 ③児童用と乳幼児用のおたよりを毎月発行しました。 児童用おたよりは、地区内の小学校6校に配布。特に夏休み特別号は6校の全児童に配布しました。 乳幼児用おたよりは、来館された皆様に配布しました。 ホームページは、スマートフォンにも対応し、市民の皆様へのお知らせやブログなどタイムリーで分かりやすく配信しました(上期44回更新)。また、当岐阜市社会福祉事業団が管理している他の8施設や、岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設「ツナグテ」のホームページとリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくしました。 Instagramによる情報発信を行いました。(投稿57件、フォローワー182人) 気象警報発令時の休館などの情報は、迅速にホームページにUPLしました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。また、苦情解決の仕組み・苦情の申出先を館内掲示することで苦情に対し適切に対応できる体制としました。 児童・保護者を対象にアンケートを1回実施しました。 ご意見箱に寄せられた苦情・意見、アンケート結果は、逐次館内に掲示するとともに、改善できるものは迅速に対応しました。 アンケートについては、ご意見ご要望も含めホームページで公開しました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。また、安全計画にもとづく施設・設備の安全点検を実施しました。 ②施設の清掃は、職員による日常清掃のほか、就労継続支援B型事業所により週2回の清掃を実施しました。 快適で安全に施設を利用していただくため、エアコンの温度管理と換気、トイレの清掃には特に気を付けました。 新型コロナウイルス感染予防については、毎日玩具・遊具、本の消毒を行いました。 園内の草取りや落ち葉の清掃、花壇の手入れを行うなど環境整備にも努めました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等スイッチを切り、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、スポンジ、ペットボトル、牛乳パックなどの廃材を事業に活用するなど環境に配慮した施設運営に心がけました。 ④月1回の職員による施設の安全点検・遊具点検、月2回のAED器具の点検、毎日の消毒、清掃を行い、遊具・玩具、設備、備品の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性があると判断した修繕は、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぐ方針としました。また、利用者の安全が確保できないものは、安全が確保されるまで利用を中止する方針としました。 ②故障したおもちゃなどはおもちゃ病院(ボランティア団体)の皆様により月1回訪問された際、修繕していただきました。
危機管理法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③、岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 災害や事故等が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を維持しています。 個人情報が記載された用紙は、使用後すべてシュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 非常用備品の点検により期限の確認と不足品の補充を実施しました。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和6年7月1日～令和6年7月31日 回答者数: 50人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和6年7月1日～7月14日 回答者数: 50人(小学:1年0人、2年6人、3年14人、4年7人、5年2人、6年8人) (中学:1年8人、2年2人、3年3人)(高校:1年0人、2年0人、3年0人)
利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 七郷(14人)、黒野(9人)、西郷(9人)、木田(6人)、島(2人)、常盤(2人)、その他市内(7人)、その他市外(1人) 【年齢】 10代(0%)、20代(12%)、30代(70%)、40代(14%)、50代以上(4%) 【利用頻度】 初めて(14%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(6%)、週1回(12%)、2週に1回(26%)、月1回(26%)、その他(16%) 【来館相手】 子・孫(94%)、友人(4%)、その他(1人)、 【子・孫の年齢】 0歳(20%)、1歳(24%)、2歳(20%)、3歳以上(34%)、未記入(2%) 【来館方法】 徒歩(8%)、自転車(6%)、自家用車(86%) 【何で知った】 ホームページ(46%)、広報紙・チラシ(2%)、学校(12%)、保育所・幼稚園(0%)、知人・友人(28%)、ぎふし子育て応援アプリ(2%)、ブログ・SNS等(2%)、その他(8%)

利用者アンケートの実施結果	【評価】 (あいさつ) 満足(92%)、ほぼ満足(8%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(94%)、ほぼ満足(6%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(92%)、ほぼ満足(8%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(72%)、ほぼ満足(20%)、普通(8%)、やや不満(0%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(86%)、ほぼ満足(14%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(82%)、ほぼ満足(16%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気) 満足(86%)、ほぼ満足(12%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 黒野小(37人)、岐北中(13人) 【学年】 小学: 1年(0%)、2年(12%)、3年(28%)、4年(14%)、5年(4%)、6年(16%) 中学: 1年(16%)、2年(4%)、3年(6%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(2%)、毎日(18%)、週4・5回(8%)、週2・3回(34%)、週1回(8%)、その他(30%) 【来館相手】 ひとり(14%)、友人(68%)、兄弟姉妹(14%)、父母(2%)、祖父母(0%)、親戚(0%)、その他(2%) 【来館方法】 徒歩(20%)、自転車(68%)、自家用車(12%) 【好きな遊び】 ドッジボール(39%)、卓球(16%)、ノバドミントン(10%)、ぬりえ(8%)、バンパープール(7%)、サッカーゲーム(5%)、その他(15%)
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<保護者> ・夏休みの午前中に参加できる工作があるとうれしい。 →ご意見をいただきありがとうございます。夏休み中はどうしても小学生向けの行事が中心となっていますが、今後は幼児向けの行事開催も検討していきます。 ・パパと一緒にのプログラム、今回はパパの仕事で参加できませんでしたが、2,3か月に1回くらい開催してほしいです。以前、パパと一緒に節分会のときに参加して主人もとても楽しそうでした。 →ご意見をいただきありがとうございます。「パパと一緒に」は年に3回(7月たなばた・10月ハロウィン・2月せつぶん)実施していますが、今後はご要望にお応えできるよう実施回数を増やしていきます。 <児童> ・いつもくるところに中学生がかってに入る →ご意見いただきありがとうございます。たいいくしつのだッジボールの時のことかもしれませんね。みんながルールをまもって楽しくあそぶことができるようにこころがけていますが、ルールをまもらない子がいたときやこまったときにはいつでも職員にそうだんしてくださいね。 ・月曜日やすみはだめ →ご意見いただきありがとうございます。月曜日もしじょうかんにきたいのかもしれませんがね。月曜日はきそくでやすみとしてありますので、じょうかんはへいかんしています。じたくやともだちのいえやこうえんなどでみんなでたのしくあそんでください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者のニーズ、苦情の把握 ・利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応・運営への反映	S	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体力増進指導に関し知識技能を有する者）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	S	S
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

広範で適切な情報提供・広報活動の実施（公平性・透明性②）
 ・新一年生へのオリエンテーション(再掲②⑭)
 児童館職員が黒野小学校に出向き、新1年生児童を対象に黒野児童館の使い方を教えるオリエンテーションを実施しました。これにより、入学したての多くの一年生に来館していただくことができました。
 ・インスタグラムによる広報宣伝活動(再掲②⑥)
 昨年度から新たにタブレット端末を活用したインスタグラムを始めました。これにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できることとなりました。今期は、リール動画を多く発信するとともに動画にマッチした選曲となるよう工夫しました。また、より多くの方に見ていただけるようハッシュタグのつけ方を工夫しました。(上半期投稿回数57回、フォロワー182人)
 ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥)
 毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知っていただくきっかけとなりました。
 ・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)
 毎月発行するおたよりに「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも黒野児童館のPRを行うことができました。毎月おたよりを持参していますが、以前よりチラシの減り方が多くなっているため、持参枚数を増やしていく予定です。
 ・ホームページでの情報提供
 ホームページの更新、最新情報を提供しました。(上半期更新回数44回)
 ・幼児クラブ申し込み連携(再掲②⑥)
 登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。
 業務改善や工夫（効果性③）
 ・じどうかんまつりの開催(再掲③⑭)
 8月に小学生を対象とした「じどうかんまつり」を開催したところ、大変好評をいただきました。この行事には、小学生ボランティア、民生委員、主任児童委員、母親クラブ、まちづくり協議会、岐阜大学生など、のべ30名を超える皆様にサポートしていただきました。
 特に小学生ボランティアの皆さんには、出店ブースの企画・実施(スーパーボールすくい)を行っていただき、有意義な場となりました。
 ・クラフト内容の見直し・充実(再掲③④)
 いつでもクラフト・クラフトウィーク・単発イベント(クラフトなど)の内容を見直し、子どもたちとの日常の会話や利用者アンケートからニーズを把握し、家に持ち帰ってからも家族で楽しめるクラフトや、デザインや色などを自分たちで自由に工夫しオリジナルな作品を作ることができるよう工夫を重ねました。特にいつでもクラフトは、3種類のクラフトの難易度に差をつけ、低学年から高学年まで幅広く楽しんでいただける内容となるよう工夫しました。
 ・サイエンスショーの開催
 今年度で3年目となるサイエンスショーについて、講師先生はこれまでの開催実績、各児童館からの要望、子どもたちのショーでの反応を受け、「子ども参加型で、実験・体験・驚きを感じられるもの」など、ショーの内容を見直し、子どもたちが自ら体験し、驚き・どよめき、科学に対する興味・関心を高めることができました。(下半期にも開催予定)
 ・保健師さんによる個別相談の実施
 「スマイルひろば」で0歳児を持つ母親を対象に保健師さんのお話を聞き、育児に不安を持つ母親の皆様に個別相談会を実施しました。
 新規事業(行事)等の実施（効果性③）
 ・食生活改善推進協議会さんとの連携(再掲③⑭)
 児童館運営委員会さんが、黒野地区食生活改善推進協議会の代表者であることがきっかけで、児童館で開催する幼児クラブに食生活改善推進協議会の活動を取り込みました。親子でおにぎりを作ったり、やさいたっぷりスープを提供していただき、食への興味・関心を持っていただき、食べる楽しさを実感していただく機会を提供しました。みんなでおいしくいただきました。
 利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映（効果性④）
 ・クラフトウィークの投票
 翌月のクラフトウィークでどんなクラフトをやりたいかを子どもたちの投票で決定しています。
 9月に開催したクラフトウィーク「ブラバン」は、子どもたちに大人気で、クラフトウィーク終了後にも「やりたかった」との声をいただいたことから、開催期間を延長してニーズに対応しました。
 ・クラフト内容の見直し・充実(再掲③④)
 いつでもクラフト・クラフトウィーク・単発イベント(クラフトなど)の内容を見直し、子どもたちとの日常の会話や利用者アンケートからニーズを把握し、家に持ち帰ってからも家族で楽しめるクラフトや、デザインや色などを自分たちで自由に工夫しオリジナルな作品を作ることができるよう工夫を重ねました。特にいつでもクラフトは、3種類のクラフトの難易度に差をつけ、低学年から高学年まで幅広く楽しんでいただける内容となるよう工夫しました。
 ・小学校先生との情報交換会・研修会の開催(再掲④⑬⑭)
 小学校のいじめ対策監の先生と、子どもに関する情報を相互に交換し、児童館での様子・小学校での様子を双方が把握し合い、子どもたちへの適切な対応を小学校と連携して進めることとしました。子どもたちの学校・児童館それぞれの様子を共有することで、子どもたちの「変化」に早く気づき、迅速な対応へと繋げるとともに、子どもたちの居場所としての機能充実が期待できます。
 また、小学校のいじめ対策監の先生を講師に、いじめの早期発見・早期対応に向けた職員研修会を開催しました。
 ・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬)
 昨年度から岐阜市内中学校で始められた「校内フリースペース」の一環として、児童館を不登校児童生徒の居場所としての活用の提案を行いました。日光児童センターはじめ長森児童センターなどで活用していただいています。今後、他の児童センターにおいても「校内フリースペース」としての活用に協力していきます。
 ・他施設の事例研究
 当事業団が管理する児童館・児童センター9館の所長会で、他施設で実際に起きた事例を研究し、配慮を必要とする子どもが利用された際、どの施設でも適切に対応できるようにしました。
 利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施（効果性⑤）
 ・「パパと一緒に・・・」イベントの開催(再掲⑤⑥)
 男性の主體的な育児参画を促進するため、「パパと一緒にたなばた会」を開催しました。多くのパパが参加され、家族みんなで楽しんでいただき、パパの積極的な育児参画に向けたきっかけづくりとなりました。利用者アンケートにも「パパと一緒に」イベントを増やしてほしいとの要望もいただきましたので、今後検討していきます。
 ・三世代交流事業(おじいちゃんおばあちゃんと一緒にあそぼう)の開催(再掲⑤⑥)
 敬老の日になんで「おじいちゃんおばあちゃんと一緒にあそぼう」を開催し、お孫さんたち・おじいちゃんおばあちゃんと楽しく遊んでいただく機会を提供しました。参加されたおじいちゃんおばあさんは、お孫さんの手形・足形アートをプレゼントされ、良い記念になりましたと楽しそうに参加されていました。

今期の取組み
に対する評価

・異年齢交流の促進(再掲⑤⑥)
「わいわいひろば」や「たんぼひろば」では、幅広い対象年齢の子が一同に参加できる機会を提供し、子ども同士や親同士のコミュニケーションにより社会性を広げることができる機会を提供しました。

・民生委員さんによる託児協力(再掲⑤⑬)
母親クラブとして開催しているヨガサークルとリトミックひろばについて、託児を希望されるお母さんが多かったことから民生委員さんに相談したところ、快く引き受けていただけることになり、毎回児童館に訪問していただいています。

・ふれあい花壇の活用(再掲⑤⑨)
岐阜市役所都市建設部が実施しているふれあい花壇団体に登録し、花壇に植える花を無償で提供していただき園庭に彩りを添えることができました。

利用促進や利用者増に繋がる方策の実施（効果性⑥）

・幼児クラブ申し込み連携(再掲②⑥)
登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。

・Instagramによる広報宣伝活動(再掲②⑥)
昨年度から新たにタブレット端末を活用したInstagramを始めました。これにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できることとなりました。今期は、リール動画を多く発信するとともに動画にマッチした選曲となるよう工夫しました。また、より多くの方に見ていただけるようハッシュタグのつけ方を工夫しました。(人上半期投稿回数57回、フォロワー182人)

・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥)
毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知っていただくきっかけとなりました。

・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)
毎月発行するおたよりに「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも黒野児童館のPRを行うことができました。毎月おたよりに持参していますが、以前よりチラシの減り方が多くなっているため、持参枚数を増やしていく予定です。

・「パパと一緒に・・・」イベントの開催(再掲⑤⑥)
男性の主体的な育児参画を促進するため、「パパと一緒にたなばた会」を開催しました。多くのパパが参加され、家族みんなで楽しんでいただき、パパの積極的な育児参画に向けたきっかけづくりとなりました。利用者アンケートにも「パパと一緒に」イベントを増やしてほしいとの要望もいただきましたので、今後検討していきます。

・三世代交流事業(おじいちゃんおばあちゃんと一緒にあそぼう)の開催(再掲⑤⑥)
敬老の日にちなんで「おじいちゃんおばあちゃんと一緒にあそぼう」を開催し、お孫さんたち・おじいちゃんおばあちゃんと楽しく遊んでいただく機会を提供しました。参加されたおじいちゃんおばあちゃんは、お孫さんの手形・足形アートをプレゼントされ、良い記念になりましたと楽しそうに参加されていました。

・異年齢交流の促進(再掲⑤⑥)
「わいわいひろば」や「たんぼひろば」では、幅広い対象年齢の子が一同に参加できる機会を提供し、子ども同士や親同士のコミュニケーションにより社会性を広げることができる機会を提供しました。

・いつでもクラフトの開催
来館した子どもたちが毎日クラフト作りに参加できるように、毎月3種類のクラフトを用意し月替わりでさまざまなクラフトに楽しんでいただくことができました。特に季節を感じられるクラフトを用意したところ好評をいただきました。

4月：ホバークラフト、ミニアルバム、くるりんぱ 8回19人
5月：うすまきローズ、簡単に作れるルービックキューブ、おてがるけんだま 20回66人
6月：ピロピロ笛、キラキラバッジ、紙コップバスケット 22回59人
7月：バックごま、ストローストラップ、なんちゃって楽器 9回34人

・ゲームマスターズウィークの開催
みんなでゲームに取り組むことで子どもたちの交流を促すとともに、新しいゲームの楽しさを発見し、より高い得点を目指して自分たちで工夫をしていく機会を提供することができました。ゲームのルールを子どもたち同士で相談し、次の日も繰り返し楽しめる内容としました。また、ゲームの得点の上位者を壁に掲示し、自分の名前を見て喜ぶ子や、さらに上の得点を目指してまた来たいと言う子もあり、リピーターが増加しました。

4月：逆ポーリング 19人
5月：ラダーゲッター 47人
6月：パパ抜き 10人
9月：ラダーゲッター 8人

・クラフトウィークの開催
いつでもクラフトより手の込んだクラフト講座を、より多くの子どもたちに体験していただけるようクラフトウィークとして開催しました。

4月：ミニバスケット 32人
5月：牛乳パックブンブンごま 33人
6月：ミラクルキューブ 10人
7月：プラバン 76人
9月：プラバン 104人

・夏休み特別企画の開催
7月24日：絵の具で遊ぼう 12人
7月26日：万華鏡11人
7月27日：サイエンスシー27人
7月31日：オリジナルファイル10人
8月 2日：モザイクタイル写真立て10人
8月 4日：フラワーミニハットづくり10人
8月 6日：ペットボトルビーズ7人
8月 7日：スタンドグラス風壁飾り11人
8月 9日：風船スクイーズ11人
8月10日：スーパーボール10人
8月16日～18日：スライムづくり39人
8月25日：光の箱9人
8月28日：ソルトアート⇒延期、9月7日・13人
8月30日：大学生さんとドッジボール大会⇒延期、10月開催予定

・単発イベント(クラフトなど)
季節に合わせたクラフトや簡単なゲームなどを開催しました。

4月：マグネットゲームをつくってあそぼう4人、デコパージュコースターづくり5人
5月：ドッジボール大会16人
6月：カンパジづくり27人

今期の取組み
に対する評価

職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加（安定性安全性⑫）

- ・虐待防止研修会
- 5月：事務局・講師：岐阜県警察本部少年サポートセンター職員 参加8名、ツナグテ職員
- 内容：児童虐待の実態、最近の子どもについて、少年サポートセンターの役割など。
- ・普通救命講習3（小児・乳児対象）
- 6月：岐阜市消防本部・講師：岐阜中消防署員 参加10名
- 内容：小児や乳児に対する心肺蘇生法やAED、止血法を学ぶ。
- ・熱中症対策研修会
- 7月：事務局・講師：岐阜市北保健センター職員 参加10名
- 内容：子どもの熱中症対策、熱中症の応急処置など。
- ・職員スキルアップ研修会(6月～1月、4回開催予定、上半期は4回開催) 各児童館・児童センター職員1名以上が参加
- 6月：西児童センター 12名参加 内容：絵本の読み聞かせ方
- 7月：本郷児童センター 12名参加 内容：おすすめのおもちゃ・ゲーム
- ・新規採用者研修会
- 7月：事務局・講師：事業団役員 参加9名
- 内容：児童館・児童センターに配属された職員を対象として、児童館ガイドライン(平成30年改正厚労省)の内容を理解し、児童館運営の充実に関与するため、児童館ガイドラインの策定に携わった当事業団役員が講師となり開催。
- ・感染症対策研修会
- 8月：オンライン
- 内容：感染症の理解、感染発生時の対応、職員の注意ポイントなど。
- ・発達障害の理解と支援
- 9月：事務局・エールぎふ職員
- 内容：障害の特性を理解し、子どもたちに対して肯定的な対応をするなど、職員が気を付けるべきことを学ぶ。
- ・いじめ対策研修会
- 9月：黒野児童館・講師：黒野小学校のいじめ対策監の先生 参加：黒野児童館職員4名
- 内容：児童館職員が、小学生のいじめを早期に発見し、学校と連携し適切な対応を行うことができるよう受講。
- ・他施設でのOJT研修
- 6月：今年度採用職員1名
- 内容：他の児童センターに出向き、ベテラン職員から幼児クラブの運営方法などを3日間にわたり受講。
- リスク防止策の実践（安定性安全性⑬）
- ・夏休み講座の午前開催
- 熱中症対策として、夏休み講座の開催時間を一部講座を除き比較的气温が低い午前開催(10時から)にシフトしました。
- ・暑さ指数情報(WBGT)の提供
- 児童館玄関に毎日の暑さ指数情報を看板で掲示し、利用者へ注意喚起しました。(31以上危険、28～31嚴重警戒、25～28警戒) さらに熱中症警戒アラートが発令された日には、同じく玄関に「熱中症警戒アラート発令中」と表示しました。
- ・こまめな水分補給の呼びかけ
- 夏休み中の利用者、特に小・中学生に対し、こまめに水分補給するように、声掛けを行いました。また、ドッジボールやバドミントンなどの運動は20分までで次の人と交代し、休憩時に水分補給を行い熱中症にかからないよう気を付けました。
- ・クーリングスポットとしての活用
- 児童館が夏休み中の児童のクーリングスポットとしての機能を果たすことができるよう、所管小学校6校(黒野、網代、方県、木田、西郷、七郷)の児童全員に
- 配布する「りようのおやくそく」に「いつでもどこかに来てくださいね」と呼びかけました。
- ・小学校先生との情報交換会・研修会の開催(再掲④⑬⑭)
- 小学校のいじめ対策監の先生と、子どもに関する情報を相互に交換し、児童館での様子・小学校での様子を双方が把握し合い、子どもたちへの適切な対応を小学校と連携して進めることとしました。子どもたちの学校・児童館それぞれの様子を共有することで、子どもたちの「変化」に早く気づき、迅速な対応へと繋げるとともに、子どもたちの居場所としての機能充実に期待できます。
- また、小学校のいじめ対策監の先生を講師に、いじめの早期発見・早期対応に向けた職員研修会を開催しました。
- ・虐待防止委員会の開催
- 当事業団児童館・児童センター所長9名による虐待防止委員会児童部門を開催。各施設での事例を参考に虐待防止に向けた対応策について研究しました。
- ・虐待防止研修会の開催(再掲⑫⑬)
- 虐待防止研修会を開催し、児童館・児童センター職員として子どもの虐待防止に向けた適切な対応ができるよう取り組みました。
- 5月：事務局・岐阜県警察本部職員 8名、ツナグテ職員1名
- ・電子メールの誤送信対策の徹底
- 黒野児童館では、メールアドレスを他者に漏洩することがないように電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的にBCCに変換できるソフトを導入し、対策しています。
- ・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬)
- 昨年度から岐阜市内中学校で始められた「校内フリースペース」の一環として、児童館を不登校児童生徒の居場所としての活用の提案を行いました。日光児童センターはじめ長森児童センターなどで活用いただいています。今後、他の児童センターにおいても「校内フリースペース」としての活用に協力していきます。
- ・子ども110番の家の登録(再掲⑬⑮)
- 子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。
- 暑いので少し休ませてほしい、トイレを借りたい、傘を貸してほしい、など子どもたちのニーズに応えました。
- ・帰宅時の声掛け
- 児童館前の道路は、道路幅の割に交通量が多く、スピードを出す車が多いため注意が必要なことから、子どもたちに「車に気を付けて帰るように」と必ず声掛けをしました。特に9月に入り日が短くなり、帰宅時には薄暗くなっているため特に注意をしています。
- ・大規模災害対策
- これまで、飲料水や非常用菓子等を大規模災害対策のため備蓄していましたが、これらに加え、新たにヘルメット・フリーストライの食糧を備蓄しました。
- その他
- ・職員による施設の安全点検を毎日実施
- ・AED点検を毎月2回実施

今期の取組み に対する評価	・おもちゃ点検を毎月実施、消防設備等点検を実施 ・熱中症対策として、塩飴、飲料水を常備しました。 ・コロナ感染等により、施設職員が一定期間出勤できない状況が起きた際でも、施設業務に支障がないよう、事務局職員や他児童館職員が応援できる体制としました。 ・地元の諸団体との連携、交流（貢献性⑭） ・じどうかんまつりの開催(再掲③⑭) 8月に小学生を対象とした「じどうかんまつり」を開催し、大変好評をいただきました。また、この行事には、小学生ボランティア、民生委員、主任児童委員、母親クラブ、まちづくり協議会、岐阜大学生などの、のべ30名を超える皆様にサポートしていただきました。 特に小学生ボランティアの皆さんには、出店ブースの企画・実施(スーパーボールすくい)を行っていただき、有意義な場となりました。 ・新一年生へのオリエンテーション(再掲②⑭) 児童館職員が黒野小学校に出向き、新1年生児童を対象に黒野児童館の使い方を教えるオリエンテーションを実施しました。これにより、入学したての多くの一年生に来館していただくことができました。 ・黒野小2年生の受け入れ 黒野小学校2年生の授業の一環として、全2クラスの児童が黒野児童館に来られました。幼児クラブの開催風景の見学、簡単な工作体験、おもちゃで自由遊びなど、楽しく過ごしていました。幼児クラブ参加幼児と児童が交流している姿も見られ、とても良い機会を提供できました。 ・小学校先生との情報交換会・研修会の開催(再掲④⑬⑭) 小学校のいじめ対策監の先生と、子どもに関する情報を相互に交換し、児童館での様子・小学校での様子を双方が把握し合い、子どもたちへの適切な対応を小学校と連携して進めることとしました。子どもたちの学校・児童館それぞれの様子を共有することで、子どもたちの「変化」に早く気づき、迅速な対応へと繋げるとともに、子どもたちの居場所としての機能充実が期待できます。 また、小学校のいじめ対策監の先生を講師に、いじめの早期発見・早期対応に向けた職員研修会を開催しました。 ・大学生による事業企画・実施 岐阜大学医学部看護学科の学生が「地域生活体験学習」として、じどうかんまつりやドッジボール大会などに参加しました。じどうかんまつりのブース担当やドッジボール大会の企画・立案・実施を学生が主体的に行い、参加した小学生から大変喜ばれていました。 じどうかんまつり(8月23日・16名・2ブースの企画運営) 大学生とドッジボール(8月30日・16名・事業の企画実施)⇒台風で延期 わいわいひろば(9月4日)・びびよくらぶ(9月20日)・たんぼひろば(9月25日) 各幼児クラブでの読み聞かせ。 ・所長が黒野小学校運営協議会委員、黒野地区青少年育成委員としてそれぞれ会議に参加しました。 ・食生活改善推進協議会さんとの連携(再掲③⑭) 児童館運営委員さんが、黒野地区食生活改善推進協議会の代表者であることがきっかけで、児童館で開催する幼児クラブに食生活改善推進協議会の活動を取り込みました。親子でおにぎりを作ったり、やさいたつぶりスープを提供していただき、食への興味・関心を持っていただき、食べる楽しさを実感していただく機会を提供しました。みんなでおいしくいただきました。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	□児童館は子どもの居場所としての役割があることから、アンケート等子どもの意見を大切にし、今後も運営に努めて欲しい。 →ご意見いただきありがとうございます。今後も引き続き、子どもたちの意見を積極的に取り入れ、子ども主体の運営を行います。 □トイレを新しくしてほしいとのアンケート結果を踏まえ、リノベーションの検討を急がれたい。 →ご意見いただきありがとうございます。利用者の皆様からのご意見、指定管理者評価委員の皆様からのご意見を反映し、岐阜市と協議しながらより良い施設運営を目指し努めてまいります。 □Teamsを活用するなどの広報活動が評価できる →ご意見いただきありがとうございます。より効果的で効率的な広報活動に努め、一人でも多くの皆様にご利用いただけるよう努めてまいります。
今後の取組み	□学校や家庭に居場所がない子どもたちを支援するため、来館した1人ひとりの児童に目を配り、話しかけ、必要に応じて学校など他の機関との連携強化を図り、児童館の「子どもの居場所機能」を充実します。 □事業団児童館所長で組織する虐待防止委員会や外部講師による虐待防止研修会で事例研究を進め、虐待の早期発見・即時対応に努めます。 □子どもたちの意見を尊重し主体性を生かす事業を実施します。 □幼児室での読み聞かせなど、親子のふれあいを大切に活動に取り組めます。 □妊婦さんや母親の居場所づくりに向けた取り組みを行います。 □男性の主体的な育児参画を促すため、パパと子どものための講座「パパと一緒に」を開催します。 □虐待防止、普通救命講習、熱中症対策、不審者対策などの各種研修により、リスク対応力強化に取り組めます。 □Instagramによる広報宣伝活動を充実させ、特に乳幼児を持つお母さん方への広報宣伝活動を強化します。

●所管課の意見

- クラフト内容を見直し、3種類の難易度にしたり、食生活改善推進協議会と連携し、食育に関する事業を実施する等、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。
- 母親クラブのヨガやリトミックにおける託児希望に対して、民生委員に託児協力を依頼する等、利用者へのサービス向上に取り組んでいる。
- 小学生を対象としたじどうかんまつりを30名を超える地域のボランティアと開催する等、地域との連携・交流に取り組んでいる。

●指定管理者評価委員会の意見

- 小学校と連携し、子どもたちの学校・児童館それぞれの様子を共有することで、子どもたちの「変化」に早く気づき、迅速な対応につなげる取り組みは評価できる。
- 児童館が夏休みの暑さ対策としての、クーリングスポットとなるよう児童に呼びかける取り組みは評価できる。
- 苦情対応の改善に向けて取り組んでいる。
- 小学校と子どもの情報を共有し、いじめの早期発見・早期対応に向けて取り組んでいることは評価できる。